

平成 23 年度

9 月 定例会

一般質問

(岡本議長) 休憩前に引き続き、会議を再開します。続いて一般質問を許します。1 番、前住孝行議員。

(前住議員) はい。皆さん、こんにちは。

(会場) こんにちは。

(前住議員) 1 番、前住孝行です。本日はお忙しい折にも関わらず、傍聴にまたインターネット中継でご覧の方、ありがとうございます。

9 月 11 日日曜日には秋晴れの中、小中一貫校に向けての小中合同運動会が行われました。小学校 1 年生から中学校 3 年生までの児童生徒が、「えがお満開!!～きらめく汗は努力のあかし～」のテーマの下、一生懸命競技に取り組む姿に感動させられました。中学生の心を 1 つにした演技に憧れの眼差しを向ける小学生、小学生の可愛らしい演技を支える中学生とそれぞれの良さを出し合い、共有できた一時でした。若桜町の明るい未来を見ることができました。

それでは、通告させてもらっています 3 点について、質問をさせていただきます。

## 若桜町の交通機関の安全報告書の開示について

まず 1 つ目です。8 月 17 日の 14 時 15 分頃、浜松市天竜川で 23 人乗りの川下り船が転覆し、5 人の方が死亡となる事故がありました。国が 12 歳未満に着用義務づけていた救命胴衣について、「身につけていたのは 12 歳未満の乗客、6 人のうち 1 人だったということだった」そうです。川下りを運営する天竜浜名湖鉄道が、乗客救助マニュアルも作っていなかったということです。日頃の安全意識の持ち方について考えさせられた事故でした。

そこで、若桜町の交通機関の安全報告書の開示についての質問です。中国運輸局のホームページを見ますと、トップページに若桜鉄道の写真が掲載されています。若桜町民として嬉しく思いました。その中で、輸送の安全情報コーナーというページがありまして、「鉄道、路面電車、ロープウェイ、観光リフト、スキーリフトの安全状況を各事業者ホームページで見よう」という標記があります。そこには「鉄道、路面電車、ロープウェイ、観光リフト、スキーリフトの輸送安全は、各々の運営事業者の経営トップがリーダーシップを発揮して守ることと定められています。各事業者においては、1 年間の輸送の安全確保の取り組みや安全の実態を取りまとめて、安全報告書として公開することとなっています。」と標記されています。

そこで、若桜町の交通機関である若桜鉄道と町営バスにあたるの

だろうと思いますけど、「若桜町」の事業者名が書いてあります。それで、「ホームページで公表」というふうに書いてありましたが、どのような開示方法になっているのか、お尋ねします。

(岡本議長) 答弁を求めます。小林町長。

(小林町長) はい。若桜鉄道、町営バスの安全報告書はどのような開示方法になっているかの質問でございますけども、お尋ねの安全報告書の開示についてですが、若桜鉄道につきましては、鉄道事業法第19条の4で、鉄道事業者は、事業年度終了後6ヶ月以内に安全報告書を作成し、インターネットの利用、その他適切な方法により公開しなければならないと定められています。本町は平成21年度より、上下分離方式の移行に伴い、鉄道施設を保有し、財産管理を行う第3種鉄道事業者となりましたので、安全報告書を作成し、若桜町のホームページ上で公開をしております。若桜鉄道は第2種鉄道事業者として安全報告書を作成し、若桜鉄道のホームページ上で公開をしているところです。また、バスにつきましては、日本交通株式会社のような旅客自動車運送事業者、いわゆる緑ナンバーは安全報告書の作成及び公開の義務がありますが、本町の町営バスのような自家用有償旅客運送者には安全報告書の作成及び公開の義務はございません。ただし、事業年度終了後、国土交通省鳥取運輸支局に実績報告書を提出しておりますので、今後鉄道事業と同様にホームページ上で公開していきたいと考えております。

(岡本議長) 前任孝行議員。

(前任議員) はい。やはり町営バスの件はどうなのかなというふうに思いましたので、義務づけ化されていないということですね、分かりました。

では、次の質問に移らしていただきます。では、その若桜鉄道ですけど、どのようなかたちで安全報告書を作っているのかということをお尋ねしたいと思います。

(岡本議長) 答弁を求めます。小林町長。

(小林町長) はい。それぞれのどの部署で、どのようなかたちで作成されているかということでございますけども、先程答弁しましたとおり、鉄道、バス事業者とも本町で、要は、企画財政課が所管しております。鉄道事業の平成21年度の報告書につきましては、平成22年8月18日に若桜町のホームページで公開をしました。

(岡本議長) 前任孝行議員。

(前任議員) はい。僕が調べて、調べ方が悪かったのかもしりませんが、9月11日現在で若桜町のホームページにアクセスさせてもらって、「鉄道、バス」というところがあって、そこから入らせてもらったのですが、結局、若桜町のホームページの中にはなかったような気がいたしました。それで、そこから若桜鉄道の株式会社の方のホー

ムページにアクセスするようにはなっていないまして、そちらの方で入らせてもらい、そこからも見つけにくかったのですが、平成 21 年度のもものが掲載されていました。

では、それぞれ最新なものが 6 ヶ月以内に提出ということだったので、いつ見られるようになるのかっていうのを教えてください。

(岡本議長) 3 番目の質問ですね。

(前住議員) 3 番目です。

(岡本議長) はい。答弁を求めます。小林町長。

(小林町長) それぞれいつ最新なものが見えるかということでございますけれども、平成 22 年度につきましては、事業年度終了後 6 ヶ月の 9 月末までには報告書を作成して、若桜町ホームページに掲載するように準備を進めているところでございます。若桜鉄道についても同じような時期になるものと考えております。

(岡本議長) 前住孝行議員。

(前住議員) はい。ちなみに隣の町の八頭町の方のホームページも見させてもらったら、八頭町の方はホームページの中にもう安全報告書っていうのが掲載されていまして、それも「鉄道事業法に基づく安全報告書を掲載いたしました。ご利用の皆さま及び地元へ」ということで 2011 年の 7 月 29 日に出したということの記事がありました。他にもちょっと調べまして天竜浜名湖鉄道安全報告書というのも 2010 年のものが 2010 年 10 月の 18 日更新ということでありました。

去年の分は 9 月末で見られるようになるということですね。はい、分かりました。

では、鉄道はそういったところなのでしょうけれども、スキー場のリフト運営でも同じことが言えると思います。そのスキー場のリフトについては、どのような開示方法や時期等教えていただけたらと思います。

(岡本議長) 答弁を求めます。小林町長。

(小林町長) はい。スキー場リフトについてはどのようになっているかとお伺いですが、索道の安全報告書の開示につきましては、鉄道事業法に基づき輸送の安全確保の為の取組みや安全の実態についての報告をするもので、町営スキー場の安全報告書は指定管理者の若桜町観光開発事業団事務所がある氷太くんの玄関ホールに毎年 9 月末に掲示して公表しているというのが現状でございます。

(岡本議長) 前住孝行議員。

(前住議員) はい。あまり見たことがなかったので、ちょっとまた見に行きたいなあというふうに思います。氷太くんに掲示されてあってもリフトの利用者というのはなかなか目にする場にはないのかなあと

いうふうに思ったりします。いろいろな開示方法があつてホームページ、リーフレットなんかの配布とか、そうすればまた経費もかかってくるかもしれませんが。掲示板とかというような方法もあつたりすると思いますので、またそういった部分のことも考えていただけたらなあというふうに思います。

そのスキー場リフト運営に関してですが、その中国運輸局が関係してしまつて、5年おきぐらいに立入り評価というのをされるそうです。その運輸局の索道課長等が来られて、いろいろな書類とかを提出しないとイケないということで、その中に完成検査の書類とか、リフトの開始12月ですか、再開検査の書類というのとか、それから1ヶ月ごとに電気関係の書類というのも提出しないとイケないそうで、そういった書類をその運輸局の立入り評価の時にちゃんと提出しないと営業停止になるということを知ったことがあります。そういった書類というのとはちゃんとあるとは思いますが、書類を開示してもらえるものですか、お尋ねします。

(岡本議長) 答弁を求めます。小林町長。

(小林町長) はい。ご存じのように厳しい検査を受けておりまして、有るか無いか、それがないと運営ができないわけでございまして、その点にははっきりしているわけでございます。私もきちんとしたトップとしまして厳しい研修を受けるわけでございます。そういう意味で、本当にスキー場は厳しいわけでございまして、私の方がスキー場第3リフトなんか、もう危険だから今日は止めたらどうかということが来ますと、それはきちんと指示するんですけども、地元ではなかなか受け入れてくれない。しかし、私はやっぱりそこはトップの姿勢だと思っております。それはちゃんと今、守っておりますけども、トラブルはあります。

それから、また開示の問題ですけども、きちんと請求されたら、私はこれは開示できる項目だという具合に思っております。

(岡本議長) 前住孝行議員。

(前住議員) はい。開示できるということですので、書類は揃っておられるということです。それをシーズン前までにはちょっと見させていただきたいなあというふうに思いますので、よろしくお願ひします。また、そういった危機管理の意識というのには高いにこしたことはありません。どう維持していくかというのが、本当に大事なかなあというふうに思いますので、いろいろな工夫でその意識を高いままの維持をよろしくお願ひしたいなあというふうに思います。

## 休校施設の管理について

では、次の質問に移りたいと思います。休校施設の管理についてです。6月の定例会前の教育民生常任委員会の方で、休校施設の管

理について伺ったところ、休校施設の管理人を1人雇用してそれぞれ週1回くらいずつ掃除や点検をしているというお答えでした。現在、休校施設の管理状況について、教育長にお尋ねいたします。

(岡本議長) 答弁を求めます。植嶋教育長。

(植嶋教育長) はい。休校施設の管理状況についてのお尋ねでございますが、現在、休校施設などの管理としまして臨時職員を1名雇用しております。具体的には旧池田小学校と休校中の若桜小学校つく米分校、吉川分校の3ヶ所の施設を週4日で管理を行っております。管理の内容といたしましては、地域住民にも愛着のある施設でありまして、校舎内の清掃、周辺の除草、点検、応急措置など何時でも使用可能な状態の維持に努めているところでございます。

(岡本議長) 前住孝行議員。

(前住議員) はい。ちょっと行かせてもらっても、草だとか綺麗にしてあり、外見はすごく綺麗だなというふうに思いました。週4日ということなのですが、なかなかその掃除とかも1人でぐるぐる廻りながらの掃除も計画的にしないと難しいと思いますし、なかなか使用頻度というのが少ないので、なかなか綺麗にしようという意識も低くならんかなあというふうに心配しているところでありますけど、そういった何か週4日ということで、何曜日に何処をとかいうような担当というか、そういったものがあつたら、また教えていただきたいと思えます。

(岡本議長) 答弁を求めます。植嶋教育長。

(植嶋教育長) はい。週に4日ということでおっしゃっておられるように、特に池田小学校あたりは、以前先生方、たくさんの児童で掃除をしていた部分を1人というようなこともありまして、特に何日が何処の学校というようなところは決めておりません。本当に広い施設でございますので、池田小学校周りもグラウンドゴルフ協会さんにもお願いして校庭斜面辺りも行っていたいただいておりますが、特に目のつくような部分の掃除というようなことが主になろうかと思えますので、特段決めておりませんが、臨時の職員さん方に一様そういう点でお願いだけはして決めておりますので、そういった状況でございます。

(岡本議長) 前住孝行議員。

(前住議員) はい。本当に外見でしか見ていないのですが、綺麗にされていて、これからもよろしくお願いしたいなあというふうに思えます。また、同時に何か点検もされているということでしたが、具体的にどのような点検項目というのがあるのかというのを教えていただけたらというふうに思えます。

(岡本議長) 答弁を求めます。植嶋教育長。

(植嶋教育長) はい。休校施設の具体的な点検項目についてのお尋ねござ

いますが、各施設の管理に週4日清掃や除草を行っているとは先程申し上げました。その際に、施設に異常が無いか、主としては目視により点検を行っております。具体的には施錠の確認、水道の漏水や雨漏りの有無、暴風節等によります破損の状況の確認、施設周辺の状況確認などを行っているところでございます。また、日々の管理作業内容や異常につきましては、管理日誌を記録していただいておりますので、異常があればその都度報告を受けているところでございます。異常の報告を受けましたものにつきましては、応急措置の指示を行っておりますし、修繕が必要なものにつきましては、予算の範囲内で修繕に努めているところでございます。

(岡本議長) 前住孝行議員。

(前住議員) はい。目視でということ、いろいろ施錠とか、漏水が無いかとか見ておられるみたいですが、具体的には今年4月からですけど、どのような、何か修繕箇所とか、というのがあったかというのを教えてもらえたらと思うんですけど。

(岡本議長) 答弁を求めます。植嶋教育長。

(植嶋教育長) じゃあ、次長の方から答弁をさせますのでよろしく願います。

(岡本議長) 坂口次長。

(坂口次長) 教育委員会の坂口でございます。先程のご質問でございますけれども、池田小学校で水道廻りの点検と、水が出ないとかいうようなお話があったりして、それを担当課の方をお願いして、修繕ということがございますし、それから吉川分校でございますけれども、実際に雨漏り等がございまして、その応急措置と言いますか、ブルーシート敷くとか、というような措置もしておりますし、この間の暴風とかの場合には点検を、ずっと廻って、近くの電線に物がひっかかっておるといようなことがあれば、そういう物を取ったりとか、というようなことをやっていただいております。

(岡本議長) 前住孝行議員。

(前住議員) はい。分かりました。目視でということですが、私も6月の定例会前にちょっと議会報告会のつく米で出た意見として、つく米分校の瓦が割れているということで、ずっと廻って見ました。吉川は、瓦はないようでした。池田小学校は瓦屋根なのですが、ちょっと目視じゃ確認できませんでした。だけど、何かちょっと何だろう、苔と言うか、何か瓦の光り方が鈍いなというのは感じさせてもらいました。それで、つく米ですけど、結構坂があったりしてよく見えるのです。表側の方もちょっと神社の方からとか見させてもらって、地上からなんですけど、表に7ヶ所位何かおかしいなっていう部分、裏は多分日当たりがいいのか、いいからすぐ解けたのかもしれませんが、裏は1ヶ所確認できました。そういった点は知っておられる

かどうかっていうのをお尋ねします。

(岡本議長) 答弁を求めます。植嶋教育長。

(植嶋教育長) はい。つく米分校の瓦につきましては、議員仰せのとおり私も道路から、特に玄関のところは低いものですから、ちょっと出っ張っているところのかけらが見えまして、確認しております。ちょっと大屋根の方はよく見ておりませんが、確認しております。例年、特にこの冬もかなりの雪があったというようなことで、ちょっと後であります、除雪をどうしようかなと事務局の方でも協議したところでございます。相当の雪でしたので、今までああいう豪雪のときはかなり瓦も壊れたってというようなことで、修理をした年もございました。その瓦の方も確認はしております、一応、事務局の職員にも指示はしておったところですけど、未だ直してないというようなことで、大変申し訳なく思っております。早急に、予算等のこともございますが、確認をして修理したいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

(岡本議長) 前住孝行議員。

(前住議員) はい。本当、個人的には議会報告会の際に聞いたり、それまでも聞いていたりしたのですが、梅雨までには本当に直して欲しかったなというふうに思います。また、今回のこの台風で大雨が降って、雨漏りしなかったらいいなというふうに思っていました。管理人からどういう点検報告がされているか分かりませんが、やっぱり地域の住民としてみれば、何だか蔑ろにされているような気持ちになるのではないかなというふうに思います。また、気にかけてもらえる方も、「言ったけど…」というふうに言っておられて、「動いてくれんわ。」というように言われたりしていたので、改善してほしいなというふうに思います。

続きまして、ちょっと先程も出ましたけど、そうやって瓦が割れたりするのは、屋根の雪下ろしとかが上手にできたら少しでも割れる枚数も減るのかというふうに思ったりもするのですが、その除雪や屋根の雪下ろしについての所見を伺います。

(岡本議長) 答弁を求めます。植嶋教育長。

(植嶋教育長) はい。除雪、屋根の雪下ろしについての所見ということでございます。施設周辺の除雪につきましては、以前は先生や保護者、地域の方々のご協力をいただいておりますが、現在は主に管理人が行っております。しかしながら毎日の除雪は困難な状況でございまして、各施設の利用に合わせた対応とならざるを得ない状況であると思っております。先程申し上げましたが、特に豪雪地でございましてつく米分校の屋根の雪下ろしにつきましては、保護者や地域の方々のご協力をいただいておりますが、現在は管理人1人では危険が伴うため、庇部分などの手の届く範囲のみの対応となっている

のが現状でございます。豪雪時におきましては、地域の方々とも相談をしながら、今後につきましては対処したいというふうに考えております。

(岡本議長) 前任孝行議員。

(前任議員) はい。今年は本当に大雪でして、結構山に上がったるときに見ていました。それで、もうあと1回大雪が来たら1人でも上がってかこうかなというふうに思ったりしていたところですけど、まずは本当に集落と相談しながらやってもらって、また、集落ばかりに頼ってもいけんかもしれないので、いろいろな方法でできると思いますので、そういった部分も考えてもらいながらやってほしいなというふうに思います。

それで、その雪もこれ位の積雪になったらするとかっていった基準づくりとかも考えていかないといけんのかなというふうに思ったりもしますが、ちょっと話は変わるかもしれませんが、池田小学校や吉川分校とかは雪下ろしはどういうことになっているのですか。同じような感じなのですか。

(岡本議長) 答弁を求めます。植嶋教育長。

(植嶋教育長) はい。池田小学校につきましては、鉄筋校舎ということでございますし、つく米と比べますと雪の量も相当少ないと思いますし、私の記憶では雪下ろしをしたというちょっと記憶がございません。また、吉川分校につきましても、以前、恐らく集落の方々にお問い合わせするような豪雪もあったかと思いますが、ちょっと私の記憶では雪下ろしをやっておりません。特に吉川分校につきましては、ホールですか、あそこは自然に雪が落ちるような形にしてありまして、逆に落ちた雪が窓ガラスを壊すというようなそっちの面の心配がありまして、そういう対策をとっているというような状況もございません。以上です。

(岡本議長) 前任孝行議員。

(前任議員) はい。その雪下ろしやその修理とかにはお金がかかってきます。その財政面のことも含めて、これ位までは出せるというか、というようなことも含めまして、町長はどのように考えておられるか、教えてください。

(岡本議長) 5番目の質問ですね。

(前任議員) はい。

(岡本議長) 答弁を求めます。小林町長。

(小林町長) はい。町長の所見ということでございますけども、休校施設につきましては比較的まだ新しく、その利活用につきましては、町としても大きな課題として、今、考えているところでございます。そのためにも利活用の目的がつくまでは適正に施設の管理をしていかななくてはならないと考えておるような次第でございまして、特に、

先程聞いておりました、特に若桜町みたいな豪雪地帯では、必ず1年に1回は上がって瓦の点検をしなくてはならないという具合に思っております。実は私の家でも毎年1年に1回春に来ていただきまして、瓦の点検をして、しかも、新しいのですけど2枚、3枚は割れているのですよね。それ位放けておくと、今度あとから大変だというようなこともございます。

県なんかになりますと、1つの施設につきまして、維持管理費を何パーセントかつけるというようなことをやっておるわけなのでございますけども、私のところではそういうことはやっておりません。やはり1年に1回はきちんと専門家の瓦の点検ということは大ごとになりますから、これまた教育委員会の方と相談をして、そういう予算をつけていきたいなという具合に思っておるところでございます。以上です。

(岡本議長) 前任孝行議員。

(前任議員) はい。いい答弁ありがとうございました。どうせやるのなら早いに越したことはありませんので、もうぜひそのことは早めに行動していただけたらなというふうに思います。

## スクールバス復活について

では、最後の質問に移ります。スクールバス復活についてです。この度の町営バスダイヤ改正、料金改正については個人的にはとてもよいことだなというふうに思います。このことで利用が増えることを期待していますし、さらなる利便性について検討してほしいと思って質問させていただきます。落折・吉川線の2便というのが、通学と重なるため乗客が多く、雨天時の雨で服が濡れたり、実質料金を支払う一般客が立って児童生徒が座っていたり、かなり不便な状況が続いています。今後の対策について、町長に伺います。

(岡本議長) 答弁を求めます。小林町長。

(小林町長) はい。町営バス落折・吉川線第2便が通学と重なるため乗客が多くなり、不便な状況が続いているバスの今後の対策について伺いますということでございますけども、町営バスの落折・吉川線第2便の今後の対策についてのお尋ねですが、現在、第2便の使用しているバス車両には座席数23席で、乗車定員29人の車両であります。平成23年6月における平日の利用状況では平均で23.5人の方が乗車されておりまして、一部区間では若干座席に座れない状況が発生し、多少混雑はしておりますが、中学校前のつく米口のバス停で9人の降車により、その後は座席に座ることができる状況です。全員が座れる状態が理想かもしれませんが、公共交通でそのような対応をすることは非常に困難であるという具合に思っております。来年4月の小中一貫校開設までには小学生は奥の方に中学生は前

の方に座っていただくなどして、お互いに譲り合うことも教育の一環ではないかと考えております。高齢者の乗客には席を譲っていただくなど、ご協力をいただけたらと、そのように私は思っておるところでございます。

(岡本議長) 前住孝行議員。

(前住議員) はい。ちょっとそこで私なりの案なのですが、諸鹿線やつく米線っていうのはそのまま運行してもらいます。落折・吉川線の2便が平成23年2月の平日の1台平均っていうのが、30.1人という報告を見させてもらいました。その中でも小中学生が半数以上になるのではないかなというふうに思います。その児童生徒っていうのがスクールバスで通えば、一般客の方はゆっくり座れることになります。それで、そのスクールバスについての所見を伺います。教育長に伺います。

(岡本議長) 答弁を求めます。植嶋教育長。

(植嶋教育長) はい。スクールバスの復活についての所見ということでございますが、町では以前スクールバスで児童生徒の運送をしていただいていたところでございますが、これが廃止された経緯がございます。現在は町営バス2台を購入して運行しているところでございます。ご指摘の落折・吉川線の第2便は実質スクールバスの役割を果たしているところでございます。今後におきましては、先程町長の答弁にもございました23人というような乗車、平均乗車数のこともございます。過疎化・少子化により住民の乗車数も減少が見込まれることからしましても新規に町営バス、いわゆるスクールバスを購入して運行することは、私は困難と考えているところでございます。

(岡本議長) 前住孝行議員。

(前住議員) はい。そうですか、はい。ちょっと僕の妄想ですが、そのまま続けますけど、さらにその落折から学校に生徒児童を送ってから上高野か出光さんのところまでスクールバスをまわして、三倉の生徒は毛利さんの隣のバス停のところに乗るようにしたり、屋堂羅の児童も道の駅の前のバス停で乗るようにしたり、赤松方面の人は人数の増減をみながらなんですけど、一宮さんの三叉路の付近でこう乗るようにして、児童の歩く距離を少しでも減らせるのではないかなというふうに考えたりしています。

また、高野の方もバス通学というふうになりましたが、日交バスで通学することになります。しかし、終点、鳥取から上がってくるバスなので、終点近くで予定時刻が遅れがちになると、特に冬場はそうなると思います。それで、寒い中ずっと待っていてもいつ来るのか分からん状況でということを経験させてもらって、ああ、なるほどなあというふうに考えさせてもらいました。それで、

全部高野まで行くというのも僕の中ではちょっと歩かせたいというのがあるので、上高野くらいまで、それか出光さんのところまでは歩いてもらって、くるっとスクールバスで回っていくと、いいと思います。えらい三倉や屋堂羅の人は歩かないといけないのが改善されたりするのかなあというふうに思ったりしました。そのことに、妄想について答弁するのも失礼かもしれませんが、教育長の所見を伺います。

(岡本議長) 答弁を求めます。植嶋教育長。

(植嶋教育長) はい。屋堂羅、三倉、高野方面にスクールバスをとの所見でございます。議員仰せのお気持ちもよく分かりますし、今まで一貫校でいろいろと協議をしている段階でも、この件につきましては保護者等からいろいろご意見もございました。できれば私もそういった方向でやれば本当に理想だなとは思っているところではございますが、なかなかいろいろ情勢がございます。先程答弁をいたしましたとおり、スクールバスの運行、なかなか困難ではないかというふうに考えておきまして、バス路線のない屋堂羅、三倉集落につきましては、現在と同様に徒歩や自転車により通学していただくという予定にしております。高野、上高野集落につきましては一貫校になりますと遠距離になりますので、小学生はバス通学に変更したいと考えております。中学生につきましては、今までどおり自転車通学としまして、冬期間のみバス通学と中学生につきましては以前と同様でございます。ご指摘の冬期間の寒い中のバス待ちでございますが、雪の多い時にはどこの停留所も大なり小なり同じような状況もございますし、まだ停留所がないというような集落も現実にございまして、皆様のご理解ご協力をお願いさせていただきます。

(岡本議長) 前住孝行議員。

(前住議員) はい。僕自身はバス通学で通わせてもらってしまして、同級生とか、そうですね、上学年や下学年を見させてもらって、やっぱり歩く集落の児童の持久力は高いなあというふうに感じていました。それで、僕自身は本当なるべく子どもたちには歩いてほしいという思いはあるのですが、でも、このご時世で安全面というようなことがありますので、ちょっとこういった案も考えてもらえば、バスの部分は運転手さんが確認したりしてありますので、その部分までは安全なのですが、そこからはもう個人に任せることになるのかもしれませんが、ぜひこんなことを言っとった者がおったということで、ちょっと頭に入れといてもらえたらなと思います。

以上で質問終わります。